

【 行動に向けてのアピール 】

支援学校における安全・安心をさらに推進させる行動月間

私たち大阪府立支援学校PTA協議会は、平成21年2月5日に「支援学校における教育の充実に向けて特別アピール」を決議し、「障がいのある子どもが安心して通い、楽しく勉学に励み、社会の一員として可能な限り社会的自立を実現してくれる支援学校であってほしい」という願いのもと、全PTA会員の積極的な行動で学校を元気づけ、支援教育の一層の充実につなげたいという思いで活動に取り組んできました。

また、子どもたちの安全・安心を脅かす事案や災害が発生する状況を鑑み、教育活動の基盤となる安全・安心を活動の重点と位置づけ、6月を「支援学校における安全・安心をさらに推進させる行動月間」としてアピールし、関係機関のご協力をいただきながら協議会として安全・安心に関わる取組みを進めるとともに、全支援学校のPTA活動活性化の気運の醸成に努めてまいりました。

しかし、府立の支援学校では残念ながら体罰や人権侵害に係る事案が未だ絶えず、安全安心を標榜してきた私たちPTAといたしましても、まことに憂慮に堪えないところです。

そこで今一度、平成21年2月の決議の思いに立ち返り、支援学校関係者として主体的にこうした課題を受けとめることが重要と考えました。これがアピールとして終わることなく、実際に行動することですべての支援学校のPTA会員が一致協力して、本行動月間を起点に、このアピールに基づく以下の活動が活発に推進されるよう要請します。

1 私たちは、すべての支援学校が障がい理解や人権尊重の教育を最重要課題に位置付け、一人ひとりが尊重され、思いやりにあふれた支援学校となることを望みます。そのために、学校が行う人権尊重の活動に積極的に協力するとともに、自らも人権問題等を学び人権意識を高め、人権が尊重された学校の実現に寄与します。

2 子どもたちの心と信頼を砕く体罰等の人権侵害事象を決して起こさないために、すべての支援学校がその根絶に向けた取組みを徹底されるとともに、一連の事象を踏まえ府教育庁等の関係機関が計画的に実効性のある施策を展開し、各学校を支援されることを望みます。私たちも体罰根絶の取組みに全面的に協力します。

3 感染症やアレルギー対応、熱中症対応などについて、大阪府教育庁の指導のもと、医療機関、学校、保護者が十分な情報共有を行い、すべての支援学校が組織的な取組みとして摂食指導を含む日常の指導や衛生活動を徹底されるよう願います。

4 防災減災対策について当協議会はこれまでも研修や各校への調査など取組みを続けてまいりました。近年は大地震や局地的な大雨による水害等、全国各地で想定を超える災害に見舞われており、大規模災害への備えを進めるとともに、これまで以上に、学校と地域、PTAが連携し、一層の防災減災へ取組みます。

5 府立支援学校PTA協議会は、府立支援学校・大阪府教育庁とより良い連携のもとに、学校と保護者、幼児児童生徒の信頼関係をより一層醸成し、今後とも支援教育の充実に向けて活動を行っていきます。

以上、本総会において行動のアピールとします。

令和元年5月28日

大阪府立支援学校PTA協議会